

沿革史

| | | |
|-------|--------|---|
| 昭和22年 | 4月30日 | 初代校長 水口利太郎氏着任 |
| 昭和22年 | 5月6日 | 京都府船井郡檜山村立中学校、三ノ宮村立三ノ宮中学校、梅田村立梅田中学校として発足。開校式並びに入学式を行い、当分の間、各小学校の校舎の一部を借りて授業開始 |
| 昭和24年 | 3月31日 | 檜山村・梅田村・三ノ宮村の三村組合立檜山中学校となり、本校の位置を檜山村字大朴小字段ノ垣内17番地に定め、当分の間、旧梅田中学校、旧三ノ宮中学校は分教場として置く |
| 昭和26年 | 3月31日 | 檜山村、梅田村、三ノ宮村、質美村が合併して新たに瑞穂村になったため、瑞穂村立檜山中学校と改称 |
| 昭和26年 | 4月9日 | 蒲生野中学校より受け入れた質美地区生徒の受入式を行う |
| 昭和27年 | 4月17日 | 三ノ宮教室を閉鎖し本校に統合 |
| 昭和28年 | 4月8日 | 梅田教室を閉鎖し完全統合なる |
| 昭和30年 | 4月1日 | 町制施行に伴い、瑞穂町立瑞穂中学校と改称 |
| 昭和33年 | 5月26日 | 第2代校長 小崎敏一氏着任 |
| 昭和40年 | 7月7日 | 本館木造2階建4教室、特別教室木造2階建4教室、鉄筋コンクリート建体育館を新築 |
| 昭和41年 | 4月1日 | 学校プール竣工。プール開き挙行 |
| 昭和42年 | 11月16日 | 第3代校長 小寺正氏着任 |
| 昭和43年 | 4月1日 | 中学校創立20周年記念式典を挙行 本館前の庭園完成 |
| 昭和44年 | 9月19日 | 第4代校長 山口喜三郎氏着任 |
| 昭和47年 | 4月1日 | グラウンド拡張工事・改修整備工事完了 |
| 昭和49年 | 11月21日 | 第5代校長 寺田治夫氏着任 |
| 昭和50年 | 4月1日 | 文部省指定並びに府教委実践校「生徒指導」の指定を受けた2カ年の成果発表 |
| 昭和53年 | 8月30日 | 第6代校長 畑中耕治氏着任 |
| 昭和54年 | 10月22日 | 体育館床全面張替工事完了 |
| 昭和56年 | 4月1日 | 体育館屋根葺き替え工事完了 |
| 昭和56年 | 4月28日 | 第7代校長 川邊実太郎氏着任 |
| 昭和57年 | 3月31日 | バレーボールコートと瑞穂テニスコートとして全面改修工事完了、コート開き行う |
| 昭和58年 | 4月1日 | グラウンド排水工事・バレーボールコート全面改修工事完了 |
| 昭和60年 | 3月27日 | 第8代校長 亀山和男氏着任 |
| 昭和60年 | 4月1日 | 管理棟・教室棟完成 |
| 昭和61年 | 4月1日 | 第9代校長 中村隆氏着任 |
| 昭和62年 | 4月1日 | 第10代校長 伊藤泰好氏着任 |
| 昭和63年 | 11月25日 | 第11代校長 野間重次郎氏着任 |
| 平成元年 | 3月15日 | 府教委教育実践推進校「英語科」の研究発表開催 |
| 平成2年 | 4月1日 | 特別教室棟の一部を焼失 |
| 平成2年 | 10月20日 | 第12代校長 小谷一郎氏着任 |
| 平成3年 | 8月18日 | 特別教室棟（9教室）完成 |
| 平成3年 | 9月30日 | 全日本中学生ホッケー選手権大会で、男子ホッケー部優勝 |
| 平成4年 | 4月1日 | 視聴覚教室を情報教室に改修し、コンピュータ21台設置 |
| 平成4年 | 8月8日 | 第13代校長 野々口喜孝氏着任 |
| 平成4年 | 8月21日 | 近畿中学校総合体育大会ホッケー競技の部で、女子ホッケー部準優勝 |
| 平成5年 | 10月28日 | 全日本中学生ホッケー選手権大会で、男子ホッケー部準優勝 |
| 平成6年 | 9月1日 | 平成4・5年度文部省・府教委指定「英語科ティームティーチング」研究発表会開催 |
| 平成7年 | 4月1日 | 町職のALTが常駐 |
| 平成9年 | 4月1日 | 府社会福祉協議会から社会福祉協力校の指定を受ける（2年間） |
| 平成9年 | 8月8日 | 第14代校長 下田敏晴氏着任 |
| 平成9年 | 8月24日 | 近畿中学校総合体育大会ホッケー競技の部で、男子ホッケー部優勝、女子ホッケー部準優勝 |
| 平成10年 | 4月1日 | 全日本中学生ホッケー選手権大会で、男子ホッケー部3位、女子ホッケー部4位 |
| 平成11年 | 4月1日 | 府教委から教育実践パイロット校（進路指導）の指定を受ける |
| 平成11年 | 10月22日 | 第15代校長 八木高司氏着任 |
| 平成12年 | 11月4日 | 府教委指定教育実践パイロット校（進路指導）の研究発表会開催 |
| 平成13年 | 4月1日 | 瑞穂中学校同窓会による「創立50周年記念事業」開催 |
| 平成14年 | 8月16日 | 第16代校長 小田憲夫氏着任 |
| 平成15年 | 4月1日 | 全国中学校ホッケー選手権大会の会場校となる（女子ホッケー部ベスト16） |
| 平成16年 | 4月1日 | 音楽室・美術室・職員室・保健室等にエアコン完備 |
| 平成16年 | 8月7日 | 第17代校長 鈴木修氏着任 |
| 平成16年 | 8月18日 | 近畿中学校総合体育大会ホッケー競技の部で、女子ホッケー部準優勝 |
| 平成17年 | 3月29日 | 全日本中学生ホッケー選手権大会で、女子ホッケー部ベスト8 |
| 平成17年 | 10月11日 | 特別棟の防災設備完備 |
| 平成18年 | 4月1日 | 瑞穂町・丹波町・和知町が合併し「京丹波町」となる |
| 平成20年 | 2月1日 | 第18代校長 袖田勇市氏着任 |
| 平成20年 | 4月1日 | 文部科学省「キャリア教育実践プログラム校」の指定を受ける |
| 平成20年 | 5月31日 | 南丹教育局「京の子ども夢・未来校（学力向上公募校）」の指定を受ける |
| 平成21年 | 4月1日 | 京の子ども夢・未来校（学力向上公募校）の研究を発表する |
| 平成21年 | 3月19日 | 特別支援学級「みずほ学級」開設 |
| 平成22年 | 4月1日 | 南丹・船井中学校陸上競技選手権大会 1年の部優勝 |
| 平成22年 | 8月9日 | 第19代校長 大塚正広氏着任 |
| 平成22年 | 11月9日 | 学校情報通信技術環境整備事業により、教育用及び校務用コンピュータの設置 |
| 平成23年 | 3月14日 | 教育用デジタルテレビ・電子黒板機能付きデジタルテレビ・ブルーレイレコーダーの設置 |
| 平成23年 | 3月18日 | 第20代校長 古杉辰義氏着任 |
| 平成24年 | 4月1日 | 特別支援学級「みずほ学級2」開設 |
| 平成24年 | 11月27日 | 南丹教育局平成22・23年度「学力向上プログラム実践推進校」の指定を受ける |
| 平成25年 | 3月29日 | 屋内運動場改築工事 着工 |
| 平成25年 | 4月1日 | 配膳施設増築工事及び受電設備増設工事 着工 |
| 平成25年 | 4月15日 | 配膳施設増築工事及び受電設備増設工事 完成 |
| 平成25年 | 10月24日 | 第21代校長 平田敬一氏着任 |
| 平成27年 | 9月29日 | 学校給食開始 |
| 平成29年 | 4月1日 | 府教委平成24・25年度「京の未来創造校」の研究を発表する |
| 平成29年 | 8月6日 | 普通教室・特別教室にエアコンを完備 |
| 平成29年 | 8月20日 | 第22代校長 武永吉弘氏着任 |
| 平成30年 | 8月6日 | 近畿中学校総合体育大会ホッケー競技の部で女子準優勝 |
| 平成30年 | 8月20日 | 全日本中学生ホッケー選手権大会で、女子ホッケー部ベスト8 |
| 平成31年 | 4月1日 | 近畿中学校総合体育大会ホッケー競技の部で女子優勝 |
| | | 全日本中学生ホッケー選手権大会で、女子ホッケー部第3位 |
| | | 京都府教育委員会平成31・32・33年度「未来の担い手育成プログラム」研究校の指定を受ける |